

Urban Design Lab Magazine

受賞ラッシュ！！

— 6つの受賞報告に湧く —

Congratulations!!

— Lab. members and OBs get 6 awards!! —

text_muramoto



4月27日(火)の不動産協会表彰式において阿部大輔特任助教が、5月14日(金)の都市計画学会表彰式において、永瀬節治特任研究員、D3の中島伸さん、本研究室ご出身の秋本福雄先生、中島直人先生が、そして同日開催のポスターセッションにおいて、大田P Jがそれぞれ表彰されました。今後も皆様のご活躍を逐次報告していきたいと思ひます。

Here's a lot of good news! Current lab. members and OBs, Dr. Abe, Dr. Nagase, S.Nakajima, Dr. N.Nakajima, Dr. Akimoto, Ota PJ were awarded for their works. We are going to continue reporting on the activities and successes of our current and former lab members.



▲他の受賞者の方々と壇上に並ぶ阿部先生(右端)



▲受賞された中島先生(右端)。共同執筆の方々とともに

受賞者のコメント Comments from prize winners

阿部 大輔 特任助教

今でも、ただ思いがけなかったという以外の実感が湧いてきません。不動産協会は主にディベロッパーで構成される団体ですが、実際に都市形成に大きな影響力をもつプロフェッションの方に評価して頂いたことはとても励みになります。

授賞式では昨今の不動産業界の状況についてのスピーチがありましたが、壇上の椅子に座りながら、そうした実務の中で自分の研究がどのように寄与出来るのか、考えないわけにはいきませんでした。

また、個人的にとっても嬉しかったのは、学生時代から著作を愛読していた鳴海邦碩先生、日端康雄先生ら大御所の先生方と同じ受賞者として、ご一緒出来たことです。これで少しは都市研究のスタートラインに立てたのかなと思ひ、身の引き締まる思ひです。なお、受賞作の著者割引あり☑(宣伝??)

D3 中島 伸

自分の研究成果をこのような形で評価していただき、本当に感謝しています。今回の研究で、貴重な史料に巡り会うことが出来たのは、西村先生にご協力頂き、東京都の協力が得られたことがとても大きかったです。重ねて感謝の意を表したいと思ひます。

こうした都市計画に係る過去の貴重な史料は、その価値や自身が振り返られることも無く処分されているという状況が一方であり、先代の都市計画が成しえたことの検証という意味で今後対策が速やかにとられるべき事項だと、調査を通じて強く思ひました。今回、生きた都市の重要な証拠(図面への計画者による直筆のペン筋や鉛筆の消し跡)に触れることが出来たことは私にとって貴重な体験であり、今後も都市の魅力を評価できるような新たな学術的な価値が生み出せるように、様々な形で努力したいと思ひます。

受賞者一覧(敬称略)

都市計画学会	国際交流賞	秋本 福雄 (九州大名誉教授)	
	石川奨励賞	中島 直人 (慶應大専任講師) ほか	『都市計画家石川栄耀 都市探究の軌跡』
	年間優秀論文賞	永瀬 節治 (特任研究員)	昭和戦前期における榎原神宮を中心とした空間整備事業に関する研究 紀元2600年祝典に際しての「神都」創出とその文脈
	年間優秀論文賞	中島 伸 (博士課程)	東京都戦災復興区画整理事業における市街化計画からみた計画実態に関する研究
	ポスターセッション優秀賞	大田 P J 岡村 祐 (首都大助教) ほか	『モノづくり』のまちの空間的・社会的特性に関する研究 — 東京都大田区を事例として —
不動産協会	不動産協会賞	阿部 大輔 (特任助教)	『バルセロナ 旧市街地の再生戦略』

プロジェクト報告

大いに盛り上がったポスターセッション・伝建勉強会

2 projects presented their researches at the CPIJ poster session

各プロジェクトが現地調査の結果を踏まえ、追加調査の実施やイベントの企画、コンペ参加など具体的な作業を着々と進めています。今回は5月14日(金)開催の都市計画学会ポスターセッションに参加し優秀賞を受賞した大田PJ、そして当研究室OGの下間久美子さんを招いて伝建勉強会を行った佐原PJです。

OTA-project 大田プロジェクト

M2 大熊 瑞樹

本年度から始動した大田PJは、そのキックオフ企画として都市計画学会のポスターセッションに参加しました。モノづくりのまちの空間的・社会的特性を把握すべく、総勢20名近くのメンバーを動員し、悉皆的に工場の位置と建築特性を調査しました。初めて大田に足を踏み入れたメンバーも多く、住工混在の持つ、工場スケールとヒューマンスケールが同居した空間に新鮮さを感じました。

ポスターセッションでは優秀賞を受賞しました。3大学(東大・首都大・横国大)合同PJは難しいところも多いですが、一つになったときのエネルギーの大きさを感じました。



▲受賞に喜ぶ野原、岡村両先生



▲「工場町家」の現地調査

SAWARA-project 佐原プロジェクト

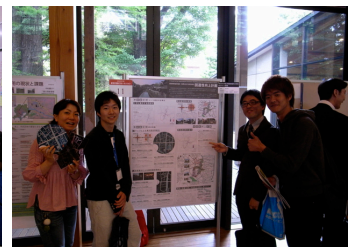
text_sakuraba

ポスターセッションは、回遊性プロジェクトを「人に伝える」ことで、その意義を考え、また汎用化に向けた新たな課題を得ることができました。

OGである下間さんを招いての伝建勉強会は目からウロコ! 「人」が大切であること、「小さな手応え」を創出していくこと、すなわちミクロな視点の大切さを改めてするとともに、伝建のエリア自体は小さいものの、街道や水運によって張り巡らされたネットワークに着目することで、合併して大きくなった香取市をつなげるツールとしての可能性を感じ取ることが出来ました。頭も心も満たされまくりの2時間でした。



▲伝建勉強会の様子



▲ポスターの前で! 野原先生とともに

演習スタジオ報告

集合住宅設計演習本格始動!

4 new M1 students challenge house designing!

PJだけでなく、演習スタジオにも積極的に取り組んでいます。他大出身のM1四名が挑み、TAとしてM1二名、M2一名が活躍する学部3年の集合住宅設計演習です。

M1 山重 徹

小名木川周辺地域と、集合住宅事例を見学し、グループで分析を行う演習に参加しました。普段何気なくまちを歩くのと、今回のように課題意識を持って歩くのではこんなにも見え方が異なるのか、と新鮮な衝撃を受けました。また、一見すると普通に設置されている階段や窓、公園などに、設計者の意図が隠されていることを知って、分析のおもしろさに気づくことも出来ました。先生やTAの方々の助言もあって、グループで満足いく発表が出来ました。今回身につけた分析手法をもとに、次の設計課題にも積極的に臨んでいきたいと思えます。



▲地区分析発表をする山重



▲熱弁を振る吉田

Information

アーバンデザイナー 北沢 猛を語る会 in ヨコハマ

日時: 2010年6月12日(土) 13:00~
場所: BankART Studio NYK 2階
会費: 一般2,000円 学生1,000円
(パーティー参加者は別途2,000円)

開催内容:

第1部 13:00~15:00

『全員で語る:』

アーバンデザイナー北沢 猛を語る』

第2部 15:30~17:30

『トークセッション:』

北沢 猛の目指したものは…』

第3部 18:30~20:30 パーティー

『北沢さんの人となり語る集い』

※各部のみの参加も可能です。



6月4日 2010年度第3回研究会会議@8階会議室
6月12日 アーバンデザイナー北沢猛を語る会 in ヨコハマ @ BankART Studio
6月19~20日 浅草PJ「光月工房」@千束・入谷地区
6月25日 2010年度第4回研究会会議

編集後記

村本 健造

はじめまして。新メンバーの村本です。よろしくお願ひします。この日曜夜の某国民的アニメの次回予告のような編集後記がほのぼのとしていて好きだったんですが、いざ自分が書くとなるとはたと手が止まってしまいました…「ここに書くことがありすぎて悩む!」と思えるくらい日々を充実させていけたらいいな、と思ひます。